

2020年(令和2年)10月31日(土)

三島市議会

住民投票条例案否決

駅南口再開発是非巡り

三島市議会は30日の臨時市議会本会議で、三島駅南口東街区再開発の「推進」か「見直し」かを問う住民投票条例案について、賛成5・反対16の反対多数で否決した。豊岡武士市長が反対の意見を付けて議案を提出し、市長与党の市議の全員が反対した。

新型コロナウィルス禍での大型計画について市民の総意を把握する必要があるなどとして、「みんなで三島の未来を創る会」が4857人の有効な署名を集め、住民投票条例の制定を求める直接請求を行っていた。

本会議で、4市議が「議員の本人は市民の意見を市政に反映させること」「住民投票を求めた市民の重みを議会は受け止めなければならぬ」と賛成の意見を述べた。一方、5市議が「事業はすでに丁寧な説明されている」「投票率が低くても結果を尊重するならば住民投票は民意をないがしろにするもの」などと反対の討論。最後に挙手による採決で否決された。

豊岡市長は「議会制民主主義の中で適切な判断をした。署名は重く受け止め、説明責任を果たして事業に協力してもらえようように努める」と述べた。一方、「創る会」請求代表者の吉岡肇さん(68)は「残念。市民の意思を代弁する気持ちがないか正直、疑問だ。今後は市民と議会を監視したい」と述べた。



挙手による賛成は5市議にとどまり、住民投票条例案を否決した三島市議会

【石川宏】